

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-142	23-051	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
A machine learning model for the prediction of unhealthy alcohol use among women of childbearing age in Alabama 出産可能年齢女性における不健康な飲酒についての機械学習による予測モデル		
執筆者		
Johnson KA, McDaniel JT, Okine J, Graham HK, Robertson ET, McIntosh S, Wallace J, Albright DL.		
掲載誌		
Alcohol Alcohol. 2024 Jan 17;59(2):agad075. doi: 10.1093/alcalc/agad075.		
キーワード	PMID	
出産可能年齢女性、飲酒、抑うつ、機械学習モデル	37968937	
要旨		
目的： 出産可能年齢女性における不健康な飲酒について機械学習による予測モデルを作成する。		
方法： 出産可能年齢女性 2397 人を対象に不健康な飲酒の重症度と抑うつのスクリーニングを目的とした米国アラバマ州の横断研究において、support vector machine learning model (SVM) を用いて、抑うつスコア (PHQ-2 スコア) と年齢に基づいた不健康な飲酒の重症度を予測した。		
結果： 機械学習モデルは全年齢の PHQ-2 スコア低値で治療介入が不要である者の予測に有用であったが、18-27 歳で PHQ-2 スコア 3 点以上の短期介入が必要な者や、25-50 歳で PHQ-2 スコア 4 点以上の治療が必要な者の予測にも有用であった。		
結論： 機械学習モデルは治療が必要な不健康な飲酒の予測に有用であると考えられる。		